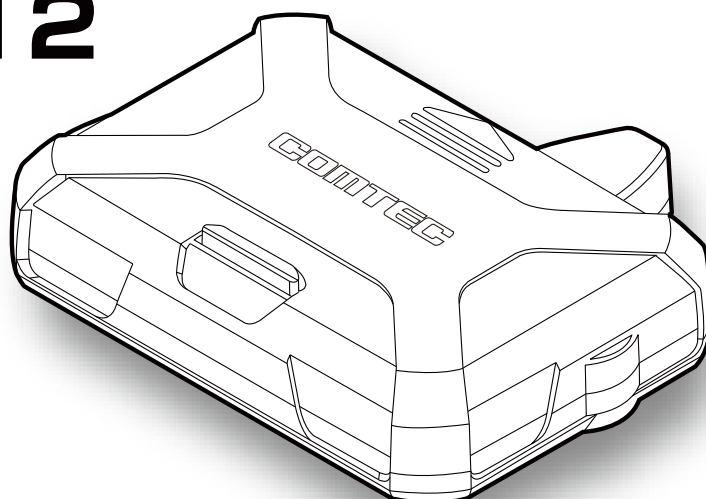


BKR912



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

ご使用上の注意	2	オートディマー機能	16
各部の名称	4	USB電源	16
製品本体	4	警報について	17
梱包内容	5	GPS 警報	17
ご使用にあたって	6	オービスポイント警報	17
GPS機能について	6	(GPS スピードガン info)	
防滴プロテクションラバーについて	7	N システム / NH システム警報	19
データ更新について	7	(N/NH SYSTEM info)	
取付け方法 二輪車の場合	8	チェックポイント警報	20
配線方法	8	(トラップポイント info)	
取付けの前に	9	駐車監視エリア警報	20
ミラー固定式ステーへの取付け方法	9	(駐禁エリア info)	
イヤホンの取付け方法	9	レーダー	21
取付け方法 四輪車の場合	10	カーロケ受信警報	22
取付けの前に	10	取締り用連絡無線警報(350.1MHz)	24
ダッシュボードへの取付け	11	パトロールエリア警報(パトロールエリアinfo)	24
ルームミラーへの取付け	11	取締りの種類と方法	25
機能及び操作方法	12	レーダー式の取り締まり	25
電源をONにする	12	レーダー式以外の取締り	26
テスト機能による音量調整と		その他	28
ミュート操作方法	13	故障かな?と思ったら	28
ACS 機能	14	製品仕様	28
LCS 機能	14	メモ	29
機能	15	保証規定	31
ディスプレイモード(販売店向け機能)	15	保証書	裏面
オートボリュームダウン機能	15		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品の USB コネクタを使い長時間充電等をする、接続機器によっては発熱することがあります。真夏の炎天下など車内温度が高い場合は特にご注意ください。

⚠ 注意

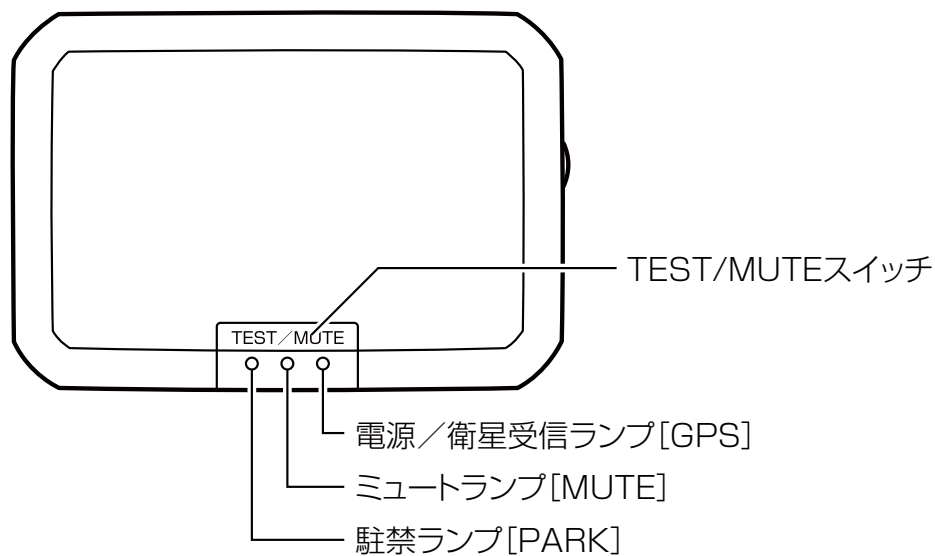
- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。(両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。)
- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS 衛星の電波を受信できない下記の様な場所では、本製品の GPS 機能が働かない為、GPS による警報、表示が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等)
- 車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信(設定)していると GPS 衛星を受信できない事があります。その様な場合、車載テレビ等のチューナー部から離し GPS 受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品の受信機能は仕様書に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 本製品の GPS 警報は予め登録されたオービス・N システム・チェックポイントのみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステムで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信する事があります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で本製品のレーダー受信機能が受信する事がありますが、誤動作ではありません。予めご了承ください。(自動ドア・防犯センサー・車輻通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部。)
- 一部断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入り等)、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星とレーダー波の電波を受信できない場合があります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。(DC24V 車へのお取付はできません。)
- キーを OFF にした時、シガープラグに電源が 0V にならない車輛(外車など)は車輛バッテリー保護する為、エンジンを始動していない時は、必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。

※本製品を取付けての違法行為(スピード違反等)に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

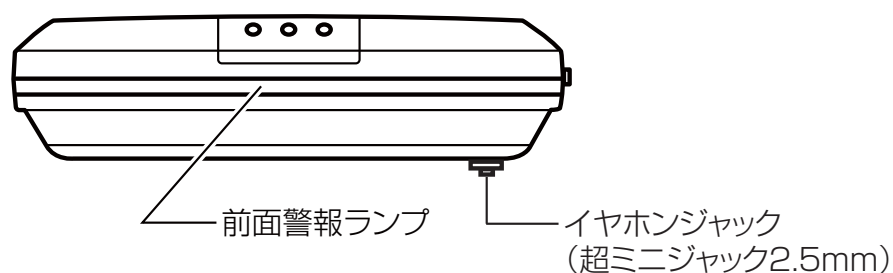
各部の名称

製品本体

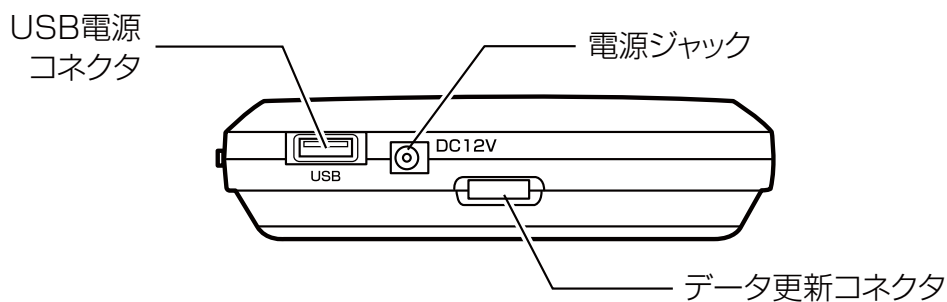
○上面



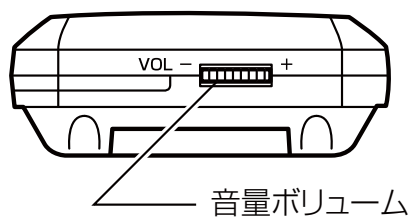
○正面



○背面

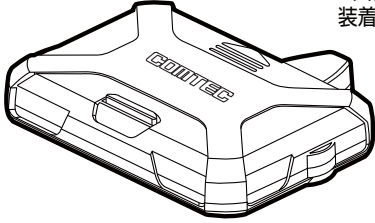


○側面



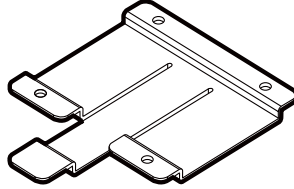
梱包内容

防滴プロテクションラバー



*出荷時本体へ装着されています。

平面式ステー (1個)

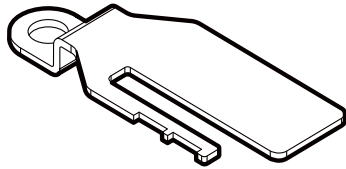


*出荷時右側ミラー取付け方向で本体へ装着されています。

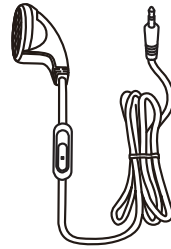
平型アース端子(1個)



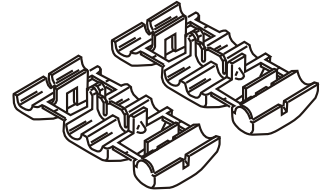
ミラー固定用ステー (1個)



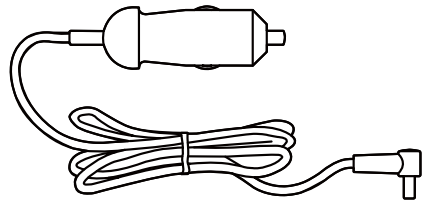
イヤホン (1個)
(ボリューム調整付)



エレクトロタップ (2個)



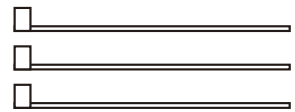
シガープラグコード



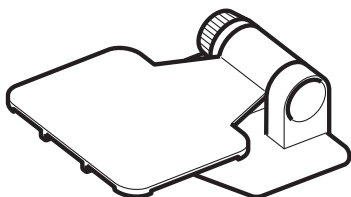
収縮チューブ(1個)



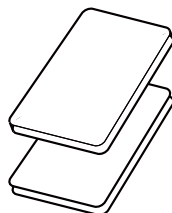
結束バンド (3本)



車載固定用ステー



両面テープ (2枚)



ご使用にあたって

GPS 機能について

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・Nシステムのデータ（座標データ等）とを比較演算し、オービス・Nシステムに接近すると警報を行います。

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

GPS レシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

受信復帰時間

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● 衛星データ

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載テレビチューナー

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると GPS 衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

■ 防滴プロテクションラバーについて

●本製品は防水タイプではありません。

二輪車でご使用の場合は、防滴プロテクションラバー装着でも雨天の連続運転や洗車などにより製品内部に浸水するおそれがあります。

雨天時の連続運転や洗車の場合は、本製品を取外してください。

（または、水がかからないようにしてください）

●長期間防滴プロテクションラバーを使用しますと経年劣化により、変形・変色のおそれがあります。

※ 別途オプション(別売)で防滴プロテクションラバーを用意しております。
おもとめの際は販売店にご相談ください。

■ データ更新について

本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。(有料)

最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。

ホームページアドレスは <http://www.e-comtec.co.jp> です。

※ 今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

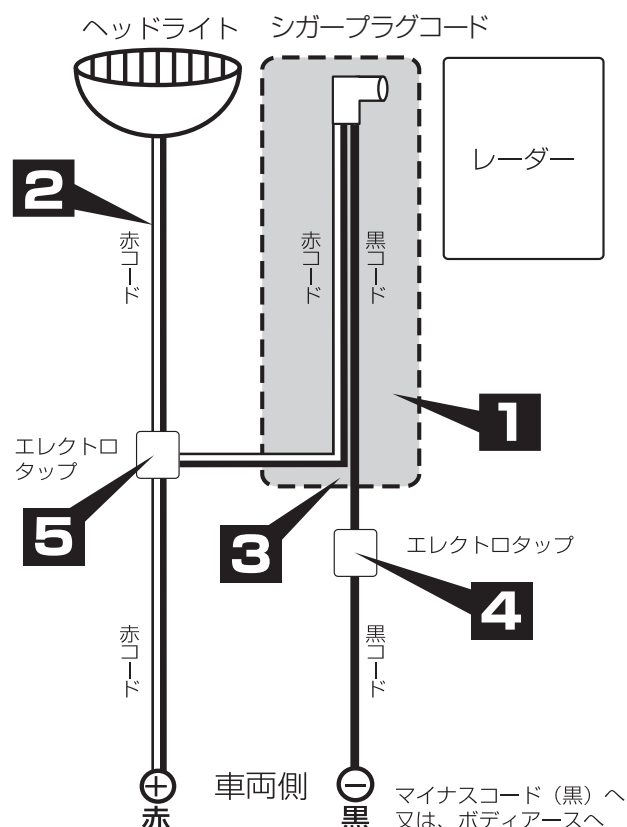
取付け方法 《二輪車の場合のみ》



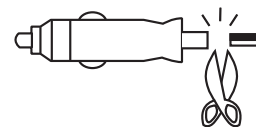
配線方法

※はじめからシガープラグソケットを装備している車両は、そのままシガープラグコードを差込んで使用してください。

(参考例)



1 同梱のシガープラグコードのカープラグ部分を切り取ります。



2 イグニッションONの状態ですべての電気が流れるコードを探します。(常時点灯式の二輪車は、ヘッドライトの赤コード(+)が好ましいです)
※常時電気が流れるコードが不明な場合は各二輪車メーカーにお問い合わせください。

3 シガープラグコードの中心を黒コード(-)と赤コード(+)に適度な長さに開きます。

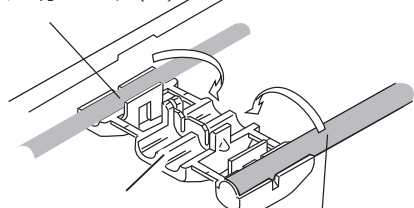
4 同梱されているエレクトロタップを使用し、シガープラグコードの黒コード(-)を車両の黒コード(-)又は付属の平型アース端子を使用し、ボディアースに接続します。

5 同梱されているエレクトロタップを使用し、赤コード(+)を車両側の赤コード(+)に接続します。

6 以上で完成です。
※結束バンドが3本付属しておりますので所要所で配線をまとめてください。

エレクトロタップの使用方法

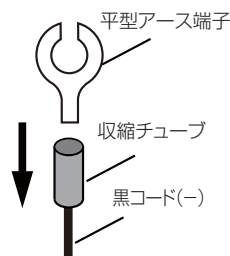
車両の黒コード(-)
もしくは赤コード(+)



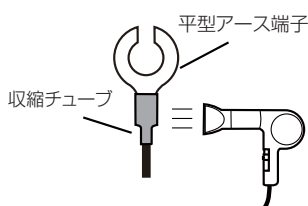
エレクトロタップ

シガープラグコードの
黒コード(-)もしくは
赤コード(+)

収縮チューブの使用方法



黒コード(-)に収縮チューブを通し平型アース端子と黒コードをカシメて接続します。



ドライヤーの温風をあてるとチューブが縮まり端子接続部を保護することができます。

※ 別途オプション(別売)でシガープラグコードを用意しております。おもとめの際は販売店にご相談ください。

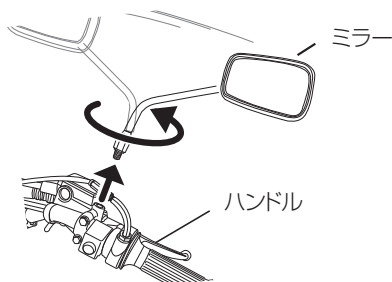


取付けの前に

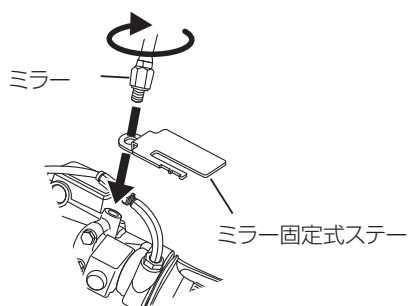
- ・GPSアンテナ上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分に注意してください。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を車両進行方向に向けて取付けて下さい。

ミラー固定式ステーへの取付け方法（左側/右側どちらでもOK）

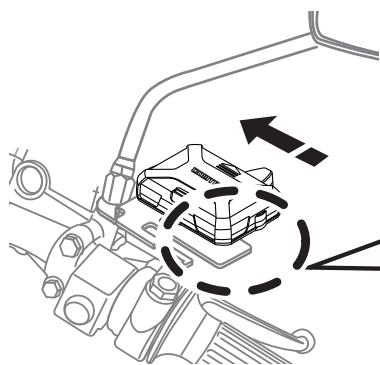
1 ミラーをハンドルから取り外します。



2 ミラー固定式ステーを取付けます。
(ハンドルとミラーの間に挟んで固定します。)

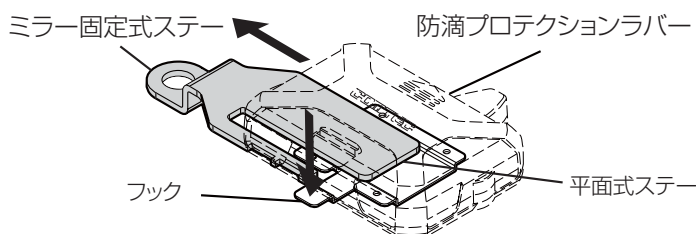


3 本体をスライドさせて固定し取付けます。

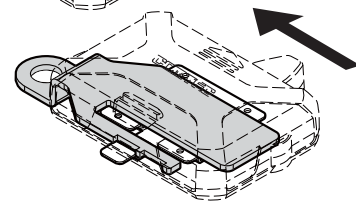


本体の固定方法

A. 本体と平面式ステーの間にミラー固定式ステーを差込みフックを下げます。



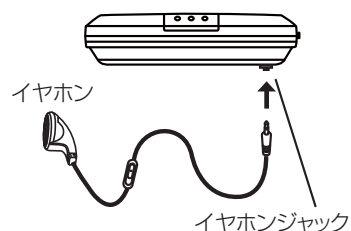
B. 本体を押し込み、ロックを確認します。



※左側ミラーへ取付けされる場合は、平面式ステーを取り外し逆向きにし取付けて下さい。

イヤホンの取り付け方法

- ハンドル固定式ステーへ本体を取付けた後、本体側のイヤホンジャック(右図)にイヤホンを差込みます。
- イヤホンを取付けてから、ヘルメットをかぶり音量を調節してください。



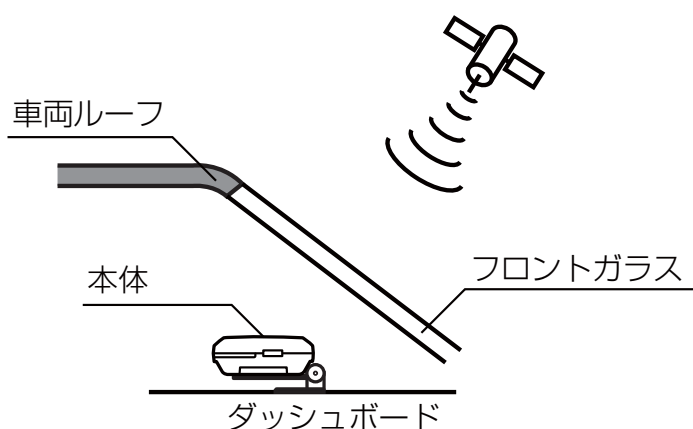
※走行中は風切音やメカニカルノイズなどが発生します。音量は大きめに設定してください。



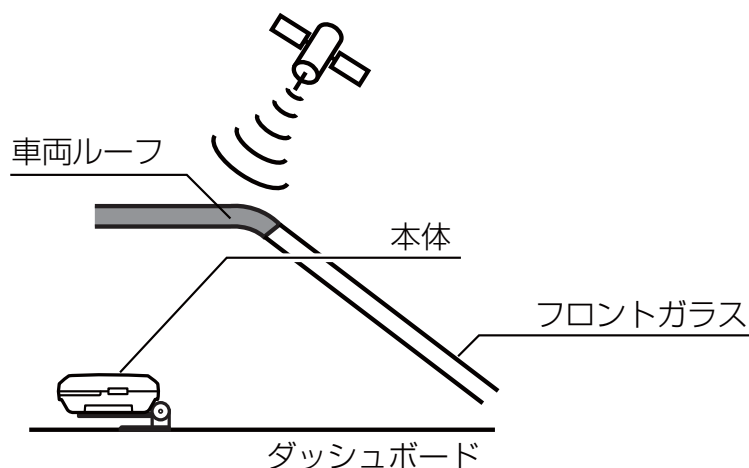
取付けの前に

- 運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- 道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる



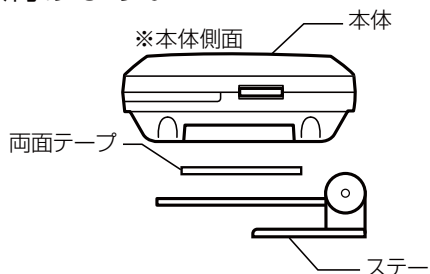
✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



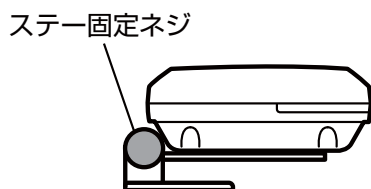


ダッシュボードへの取付け

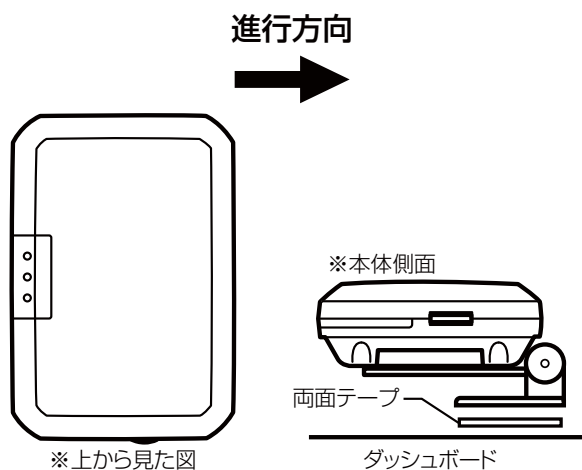
1 本体とステーを付属の両面テープを使用して取付けます。



2 地面と平行になるように角度を調整後、ステー固定ネジを手でしっかり締めます。



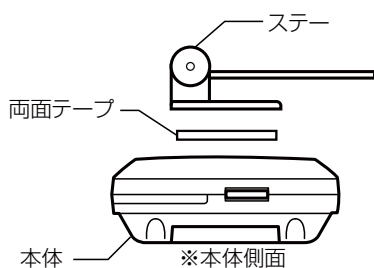
3 付属の両面テープを使用してダッシュボードへ取付けます。レーダー受信部が車両進行方向に向くように取付けてください。



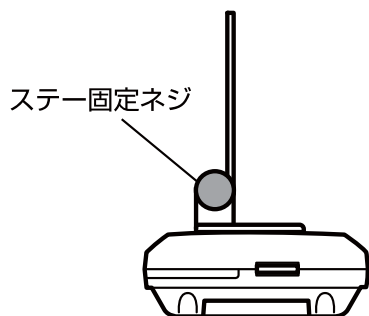
※ダッシュボードへ直で付ける場合は、本体底面に両面テープを貼り、しっかりと固定してください。
※取付け面のほこり・油分の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

ルームミラーへの取付け

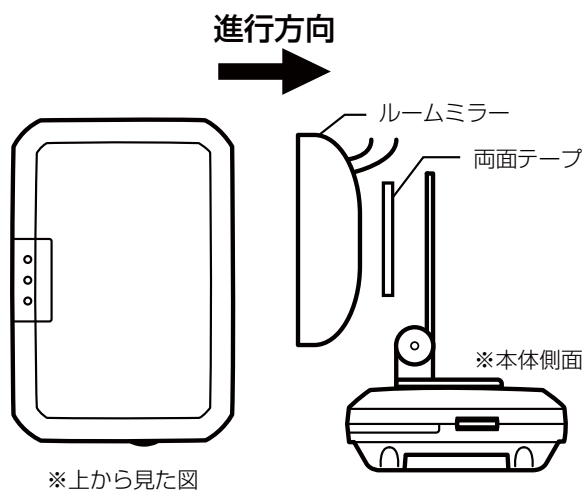
1 本体とステーを付属の両面テープを使用して取付けます。



2 地面と平行になるように角度を調整後、ステー固定ネジを手でしっかり締めます。



3 付属の両面テープを使用してルームミラー裏へ取付けます。レーダー受信部が車両進行方向に向くように取付けてください。



※ミラー形状が曲面の場合、両面テープの接着面が少なく粘着力が落ち、本体が脱落するおそれがあります。

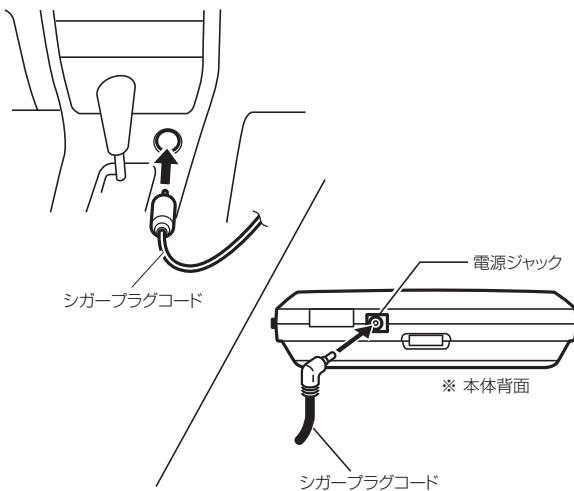
※取付け面のほこり・油分の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

機能及び操作方法

電源を ON にする

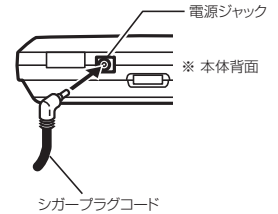
1 四輪車の場合

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込み、次に本製品にシガープラグコードを接続します。



1 二輪車の場合

製品本体電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。



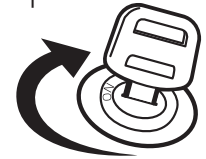
A 二輪車に装備されているシガーライターソケットを使用する場合

シガープラグソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。

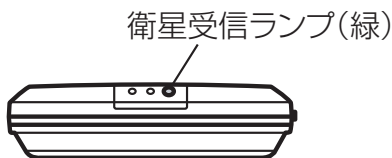
B シガープラグコードを車両配線に接続した場合

車両に取付けたシガープラグコードのジャックを本機に差し込みます。

車両のエンジンを始動します。



2 衛星受信ランプが点滅します。



●衛星を受信するまでの衛星受信ランプの光り方

衛星受信ランプ(緑)が点滅します。

○電源を ON にして衛星受信ランプが点滅を開始してから約数秒～数分 (P6) で GPS 衛星を受信し、アナウンスを行い、衛星受信ランプが点灯します。

衛星を受信した時のアナウンス

「衛星を受信しました。」

○電源が ON になり約 3 分間衛星を受信しなかった時、アナウンスを行い衛星受信ランプが点滅したままになります。

衛星を受信できなかった時のアナウンス

「衛星を受信できません。」

●衛星受信ランプの状態

ランプ	受信状態
点灯	3 機以上の衛星を受信
点滅	衛星の正確な受信ができていない

※本製品が正確な測位計測を行う為には、3 機以上の衛星を受信する必要があります。受信衛星数が 2 機以下の場合、全ての GPS 機能は作動しません。

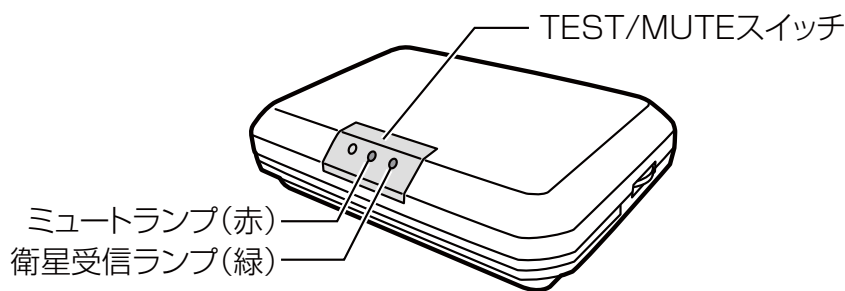
■ テスト機能による音量調整とミュート操作方法

● TEST/MUTE スイッチとは…

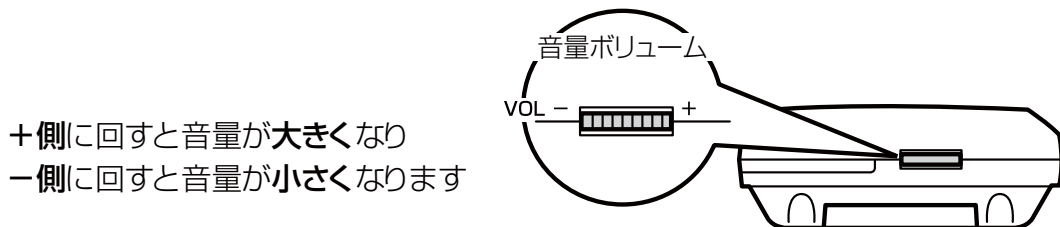
本製品がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート機能を兼用したスイッチです。

■ テスト機能を使用する

- 1 電源を ON にして衛星受信ランプの点灯、又は点滅を確認してから TEST/MUTE スイッチを押します。



- 2 テスト動作を行いますので、その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。



■ ミュート（消音）機能を使用する

警報中、TEST/MUTE スイッチを押すと警報音を消音しミュートランプ（赤）が点灯します。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

機能及び操作方法

ASC 機能

● ASC とは…

オート・センシティブ・コントロールの略称で、GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です。

受信感度	走行速度
LOW (ロー)	50km/h 未満
HI (ハイ)	50km/h 以上

※ GPS 衛星の受信が行えない場合は、受信感度 HI (ハイ) に固定されます。

LSC 機能

● LSC とは…

ロー・スピード・キャンセルの略称で、GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 20Km/h 以下の場合、警報中でも LSC 機能が作動して警報音をカットします。

※ GPS 衛星を受信できない場合は、自動的に LSC 機能が解除されます。

◇ 警報時の LSC 機能の動作

○ GPS 衛星受信時

状態	ミュートランプ (赤)	警報音
停車中～ 20Km/h	点灯	しない
20Km/h 以上	消灯	する

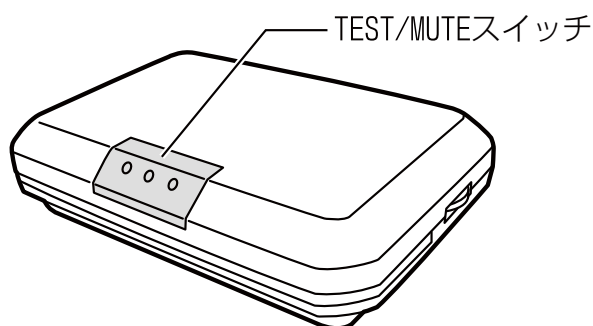
○ GPS 衛星未受信時

状態	ミュートランプ (赤)	警報音
停車中	消灯	する
走行中		

ディスプレイモード（販売店向け機能）

本製品の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品をディスプレイとして展示する場合等に設定を行ってください。

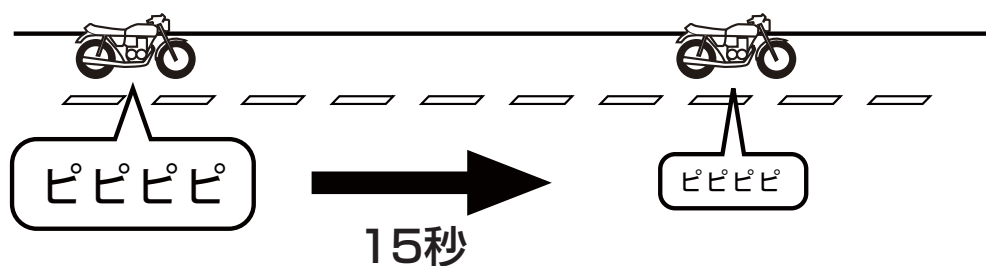
- 1 TEST/MUTE スイッチを押しながらシガーコードを接続します。



※ 再度同じ操作を行うとディスプレイモードは解除されます。同じ操作を行わない限りディスプレイモードは解除されません。

オートボリュームダウン機能

レーダー波を受信してから（警報開始から）約 15 秒後に自動で警報音量を小さくします。



オートディマー機能

GPS 情報によって自動的に各ランプの光量を 2 段階で自動調整します。

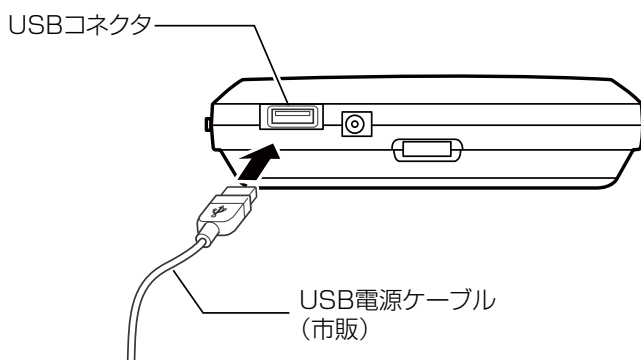
◇ GPS 情報を利用した場合のオートディマー

GPS 衛星による日時データを利用して調整します。

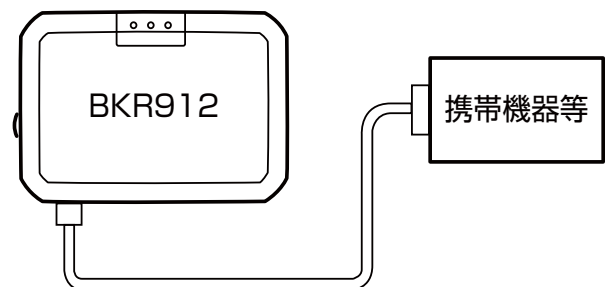
時 期	オートディマー作動時刻	点灯表示
3月～5月	18:00～5:00	減光点灯
6月～8月	19:00～4:00	
9月～11月	18:00～5:00	
12月～2月	17:00～6:00	
すべての月	上記以外の時間	通常点灯

USB 電源

USB コネクタから電源供給 (5v・300mA 以下) することができます。携帯機器等の充電などにお使いください。



◇ USB 接続例



※ USB 電源使用時は接続機器によっては発熱する場合があります。真夏の炎天下など車内温度が高い場合はご使用をお控え下さい。

※ USB 電源ケーブルは付属していませんので、別途市販品等ご用意ください。

GPS 警報

■オービスポイント警報 (GPS オービススピードガンinfo)

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇**警報を行う距離** (注) GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

約2km (高速道路のみ)	約1km	約500m	約200m
ボイス警報 警報ランプ (遅い橙点滅)	ボイス警報 警報ランプ (遅い橙点滅)	ボイス警報 警報ランプ (橙点滅)	アラーム ※警報時間:約10秒間 警報ランプ (早い橙点滅)

※ 約 2km 地点での警報は、高速道路上のポイントのみ行います。

警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

警報について

◇オービス警報の内容

オービス種類	ボイス内容 ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル／光電管	効果音、約（※1）先（※2）上ループコイル があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
LHシステム	効果音、約（※1）先（※2）上LHシステム があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
Hシステム	効果音、約（※1）先（※2）上Hシステム があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
レーダー	効果音、約（※1）先（※2）上レーダー があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
トンネル出口付近	効果音、（※2）上トンネル出口（※4） があります。 時速は約（※3）キロです。

- ※1 2キロ、1キロ、500mいずれかをアナウンスします。2キロは高速道路のみ
- ※2 高速道路、一般道路のいずれかをアナウンスします。
- ※3 アナウンスを始めた時の時速を約10Km単位(四捨五入)でアナウンスします。190Km以上は「190キロ以上です」とアナウンスします。
- ※4 取締機の種類をアナウンスします。
- ※5 500mの警報の場合、カメラは（右側／左側／正面）です。（カメラ方向が不明の場合はアナウンスしません。）

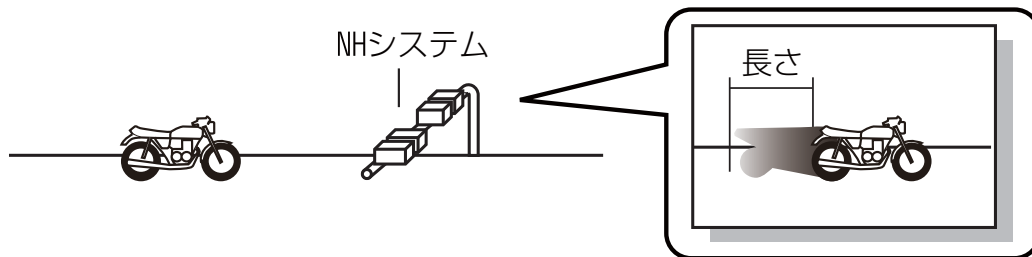
注意

※3のアナウンスの時速はアナウンスした時の時速ですので、現在の走行している時速（車両側時速）とは異なる場合があります。

■ N システム /NH システム警報 (N/NH SYSTEM info)

● NH システムとは…

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



◇ N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

警報を行う距離



警報音	ボイス警報
前面警報ランプ	橙点滅

※ 警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

警報の内容

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

種類	ボイス内容
	※ () 内の言葉は、高速上の N システム / NH システム警報時にアナウンスします。
N システム NH システム	効果音 この先 (高速道路上) N システムがあります。

※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

警報について

■チェックポイント警報（トラップポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると高速道路上では約 1km 手前、一般道路上では約 500m 手前で注意をお知らせし、離れれば回避をお知らせします。

状況	ボイス内容	前面警報ランプ
接近した場合	効果音 チェックポイントに接近 ご注意ください	早い橙点滅
回避した場合	効果音 チェックポイントを 回避しました。	点滅

■駐車監視エリア警報（駐車監視エリア info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

平成 18 年 6 月に各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

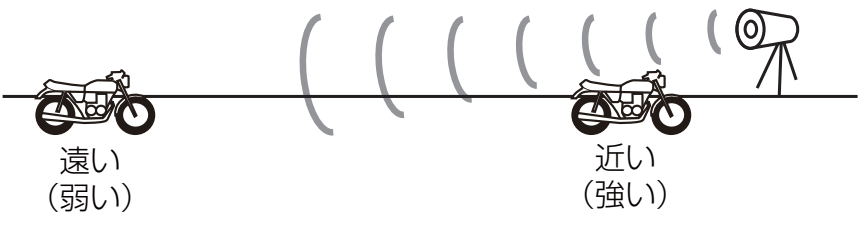
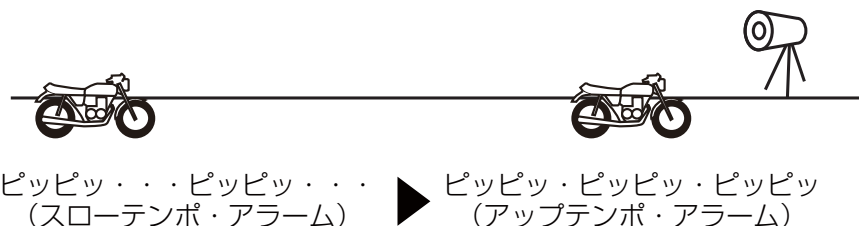
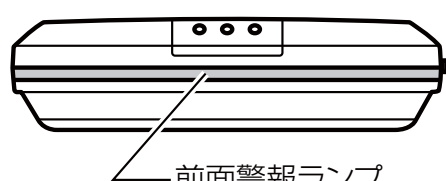
ボイス内容
効果音、駐車監視エリアです。

※ 駐車監視エリア内を走行中は TEST/MUTE スイッチに黄ランプが点灯します。

⚠ 注意
弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 <ul style="list-style-type: none">・ 全ての監視エリアで警報するわけではありません。・ 実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。

レーダー

レーダー式取締り機に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			
前面警報ランプ（赤）		遅い点滅	速い点滅
アラーム音	受信感度	LOW (50km未満)	アラームが鳴らない
		HI (50km以上)	アラームが鳴る
ステップアラームのタイミング			
ステルス波受信		前面警報ランプが赤色に点滅しアラーム音で警報します。	

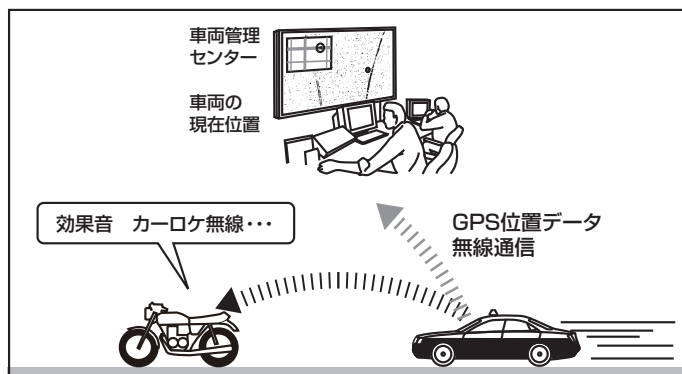
※ レーダー警報中の場合でも、GPS 警報、無線警報（カーロケ、350.1MHz）を優先して行います。

警報について

■カーロケ受信警報

●カー・ロケーター・システムとは…

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカーロケーターシステムを装備しています。

本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。
- ・本製品が受信するカー・ロケーター・システムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。現在、受信できる地域であっても、新システムの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

◇カーロケ電波の状況によって遠近識別警報を行います。

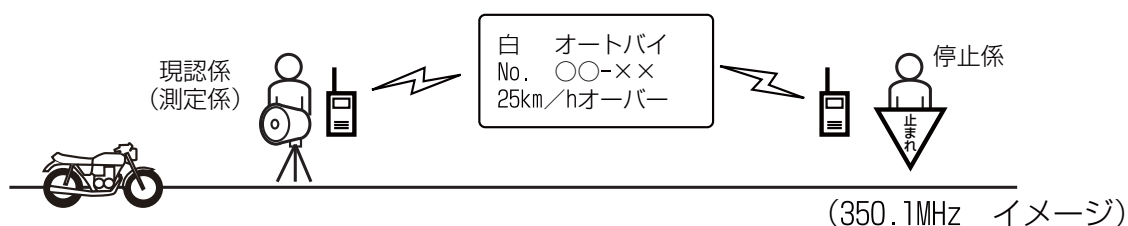
◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	前面警報ランプ
◇弱いカーロケ電波を受信した場合 「効果音 カーロケ無線を受信しました。」	緑色 遅い点滅
◇突然強いカーロケ電波を受信した場合 「効果音 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛にご注意ください。」	緑色 早い点滅
◇一度、受信した電波より 30 秒以内に強いカーロケ 電波を受信した場合 「効果音 カーロケ無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意ください。」	緑色 早い点滅
◇一度、カーロケ電波を受信して、数分間受信 しなかった場合 「効果音 カーロケ無線を回避しました。」	緑色 遅い点滅

警報について

■取締り用連絡無線警報（350.1MHz）

●取締り連絡無線（350.1MHz）とは…

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等を使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



ボイス内容	前面警報ランプ
効果音 350.1 無線を受信しました。	緑色 点滅

■パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

※ 必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	前面警報ランプ
効果音、パトロールエリアです ご注意ください。	緑色 点滅

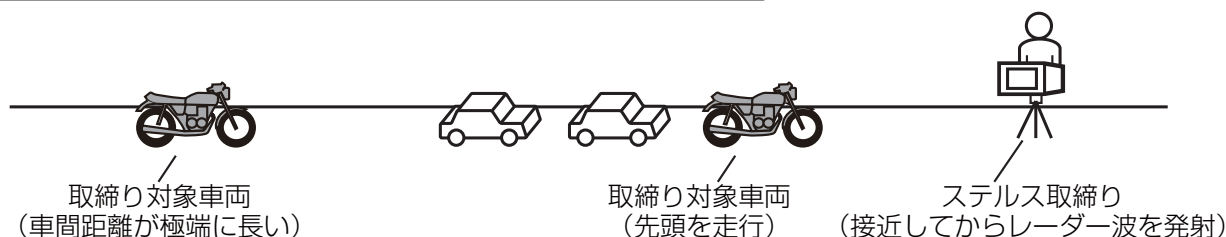
取締りの種類と方法

レーダー式取締り

代表的なレーダー式取締りについての説明。

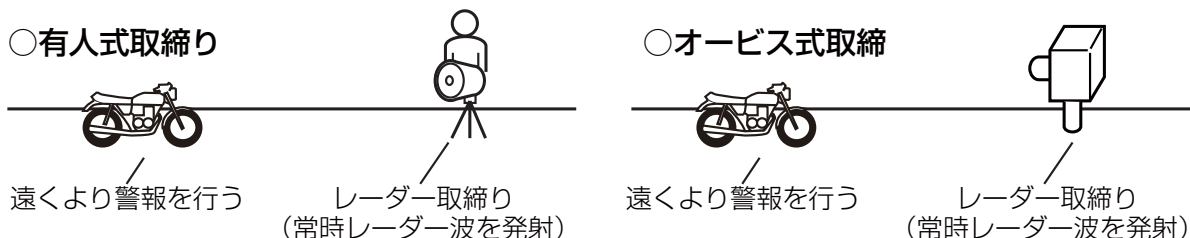
◇ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。**走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。**



◇レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



◇新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



取締りの種類と方法

◇移動オービス式／パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

レーダー式以外の取締り

代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

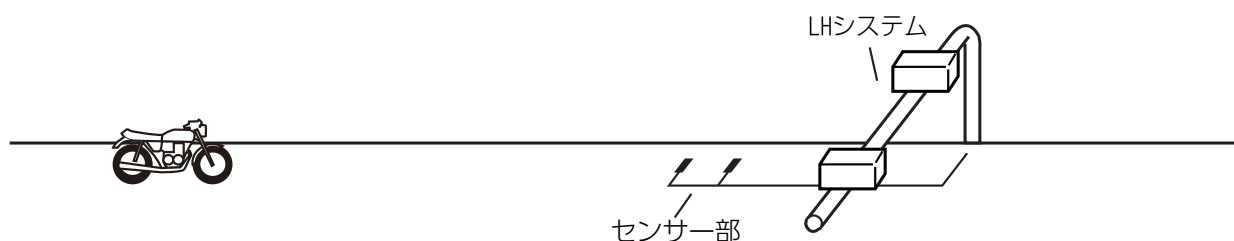
◇ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



◇LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



取締りの種類と方法

◇光電管式取締方法（有人式取締り）

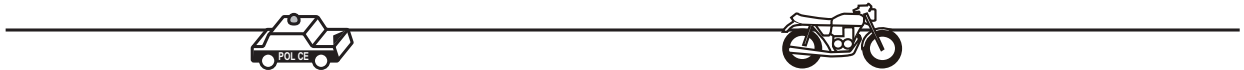
2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

○有人式取締り



◇追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。



※ 光電管式取締方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品のチェックポイントに登録されている地点（P18）であればGPS警報を行います。）

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●シガープラグコードが断線していませんか？ ●シガープラグコードのヒューズは切れていませんか？ ●シガープラグコードが正しく取付けされていますか？ 	5 ページ 5 ページ 10 ページ
GPS 衛星を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺に電波を遮断する物はありませんか？ 	8 ページ 8 ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量は正しく設定してありますか？ ●ASC 機能が作動していませんか？ ●LSC 機能が作動していませんか？ 	11 ページ 12 ページ 12 ページ
GPS 警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外の取締り機ではありませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ 	8 ページ 15 ページ 15～17ページ 15～17ページ
レーダー警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●レーダー式以外の取締りではありませんか？ 	24,25 ページ
無線警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●対象はカー・ロケーター・システム搭載の緊急車両ですか？ 	20 ページ

製品仕様

電源電圧	DC12V 専用	受信方式	パラレル 16ch ダブルスーパーヘテロダイン
消費電流	120mA以下(USB 使用時は除く)	測位更新時間	最短 1 秒
最大消費電流	200mA以下(USB 使用時は除く)	検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
USB 電源	5V・300mA 以下	動作温度範囲	-10℃～60℃
受信周波数	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS (1575.42MHz) ・Xバンド (10.525GHz) ・Kバンド (24.200GHz) ・カー・ロケーター・システム (407MHz 帯) ・取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯) 	本体サイズ 重量 イヤホン 端子サイズ	92.5(W) × 63.5(L) × 24(H)/mm (突起物は除く) 80 g 長さ1.5m(ポリウム調整付) 超ミニジャック用 2.5mm

※ 本製品の外觀および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。